みんなの あしたに ハッピーを

# Coca Cola West

# コカ・コーラウエスト株式会社

会社説明会

2011年12月

証券コード 2579 (東証1部、大証1部、福証)



「コカ・コーラ」と「コカ・コーラウエスト株式会社」	• • •	2
健康食品事業	• • •	17
財務情報・株式情報	• • •	20
総括(当社の強み)	• • •	27



# 「コカ・コーラ」と「コカ・コーラウエスト株式会社」



- 1886年アメリカ ジョージア州 アトランタで誕生(125周年)
- ■「風と共に去りぬ」、「1996年夏季オリンピック」
- ■「サンタクロース」
- ■「コカ・コーラ製品」は、全世界で1日に約17億杯消費(1杯=約237ml)
- ■「コカ・コーラのブランド価値」は、約5.5兆円
- 「コカ・コーラコンツアーボトル」、2008年5月立体商標
- 環境に配慮したコカ・コーラ独自の容器「ecoるボトル しぼる」





風と共に去りぬ





立体商標が認められた コンツアーボトル



簡単にしぼって、つぶせる容器



# コカ・コーラシステムはフランチャイズシステム

フランチャイザー (本部) ザ コカ・コーラカンパニー(アトランタ)

100%出資

日本コカ・コーラ社(東京)

フランチャイジー

(地域独占販売権を所有する会社)

ボトラー(日本に12社)

# コカ・コーラウエストの役割



- ・日本最大、世界でも有数の規模を持つボトラー
  - → 日本のコカ・コーラビジネスの変革をリード
- ・日本で唯一、戦略的リーディングパートナー契約を締結
  - → 日本コカ・コーラ社との商品協働開発/テストマーケティング



当社エリア限定商品

ザ<sup>`</sup>コカ・コーラカンバニー (アトランタ)



#### コカ・コーラウエスト(株)

福岡県/大阪府/滋賀県/奈良県/和歌山県/京都府/兵庫県/岡山県/鳥取県/広島県/島根県/山口県/佐賀県/長崎県

日本コカ・コーラ(株) (東京)

# 戦略的リーディングパートナー

※ 南九州コカ・コーラボトリング(株)はコカ・コーラウエスト(株)の持分法適用関連会社 (出資比率25%、2010年12月末時点)



# 清涼飲料業界No.1はコカ・コーラ(当社の販売数量構成比は約30%)

#### 【2010年メーカー別販売数量】



飲料総研YearBook2010年および各社ホームページより作成

# ブランド



- ・お客さまの多様なニーズに応える豊富なブランドを展開
- ・「炭酸飲料」、「缶コーヒー」、「ブレンド茶」、「スポーツ飲料」、「ミネラルウォーター」は各カテゴリーで マーケットシェアNo.1

#### 【重点ブランド】













#### 【その他ブランド】































# グループとして、「調達」から「回収・リサイクル」まで一貫した体制

調達

製造

物流

販売·修理

回収・リサイクル



















# 2011年からの3年間を「革新と成長の3年」と位置づけ、売上・利益の拡大を目指す

# 成長戦略

- コカ・コーラビジネスの拡大
  - 垂直·水平拡大
  - ■トレードマーケティングの進化
  - 体制・業務プロセス変革
- 新しい領域への挑戦
  - SCM中心の周辺事業

# 効率化戦略

# 効率化と生産性の向上

- お客さま起点でのSCMの実現
- ローコスト供給体制の実現
- 物流プロセスの革新
- 管理・間接部門の効率化
- 適正人件費の実現

# 構造戦略

- 地域社会・環境への貢献と社員の働きがい向上
  - 地域社会への貢献
- 社員の働きがい向上
- 環境への貢献



# この企業理念のもとに、グループ社員約1万名が日々活動を実施

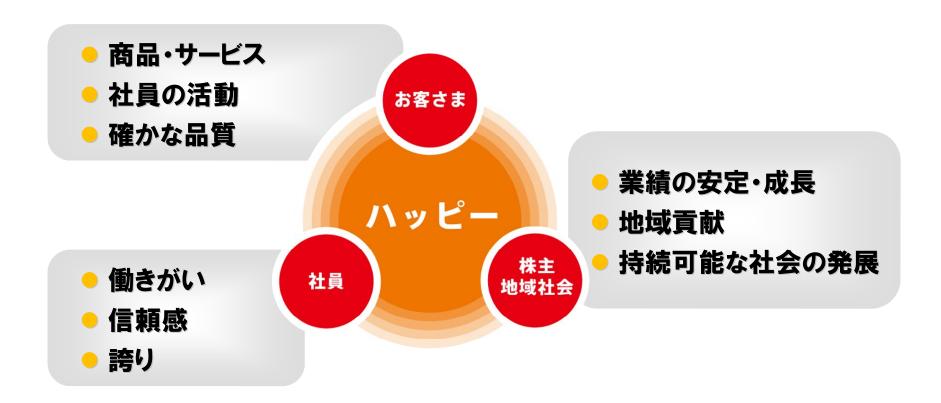
# Coca Cola West

# 企業理念

飲料を通じて 価値ある「商品、サービス」を提供することで、 お客さまの ハッピーでいきいきとしたライフスタイルと 持続可能な社会の発展に 貢献します。



# お客さまに愛され、地域社会に愛され、社員が愛する会社へ!!





# 社会とのつながりや環境を重要な経営課題として認識し、積極的・継続的に活動を実施

#### 【事業活動を通じた取り組み】

#### ·地域貢献型自動販売機

→ 売上の一部を地域のみなさま の活動資金に充当(2001年 に飲料業界で初めて導入)

#### ·災害対応型自動販売機

→ メッセージの配信およびフリードリンクの操作可能

#### 【地球温暖化対策】

・省エネ型自動販売機の積極導入



"アイランドシティ緑化支援"

社会福祉支援 まちづくり支援 観光支援 環境支援 など



福岡県大川市 島根県安来市 鳥取県大山町 京都府 など



省エネノンフロン自動販売機



ソーラーパネル搭載型 自動販売機



#### 【リサイクルの推進】

- ・空容器のリサイクル
- ・廃棄自動販売機のリサイクル
  - → 飲料メーカー初の自社廃棄処理施設 (北九州さわやかリサイクルセンター)



北九州さわやかリサイクルセンター

#### ■ 廃棄自動販売機リサイクルフロー図





#### 【地域社会貢献活動】

#### ·社会福祉支援

心身に障がいを持つ子供たちが、将来、社会自立するための一助と なるよう支援しています

#### ・スポーツ活動支援

次世代を担う子供たちがスポーツを通じて、協調性や忍耐力を養い、 健全に成長することを願い、教材や環境を提供しています

#### ·文化·教育活動支援

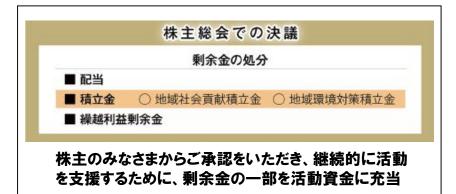
豊かな社会(心豊かな人材育成)づくりに貢献するため、本格的な コンサート、ミュージカルの開催や環境を提供しています

#### ・地域大型イベント支援

行政や団体が主催する地域の大型イベントを地元企業として支援しています



特別支援学校への教材贈呈





小学校への一輪車贈呈



# 【地域社会貢献活動】



市村自然塾九州の運営



さわやかファミリーミュージカルの開催



さわやかクラシックコンサートの開催



平城京遷都1300年祭への協賛



#### 【地域環境推進活動】

・「さわやか自然の森」森林保全活動

自然の恵みである水を利用する企業として、工場近郊の森林「さわやか自然の森」を保有し、枝打ちや間伐などの保全活動を実施しています

- ⇒佐賀県鳥栖市/広島県三原市/鳥取県西伯郡/兵庫県小野市/ 京都府綴喜郡/滋賀県愛知郡
- ・植林活動支援 地域への環境教育支援の一環として植林活動を実施しています
- ・夏休み環境体験学習 次世代を担う子どもたちに水を育む森林の大切さを学んでもらう活動を実施しています
- ・地域美化活動 毎月、事業所周辺の道路・公共場所の清掃活動を実施しています



植林活動支援



夏休み環境体験学習



「さわやか自然の森」森林保全活動



地域美化活動



# 健康食品事業

# 【キューサイグループ】

・キューサイ株式会社 (健康食品等の製造販売)

・キューサイ青汁販売株式会社 (青汁製品の販売)

・日本サプリメント株式会社 (健康食品等の販売)

・株式会社キューサイファーム島根 (農業および青汁製品の製造)

・株式会社キューサイファーム千歳 (農業および青汁製品の製造)

・株式会社キューサイ分析研究所 (食品等の分析)



# "まずい青汁"だけではありません。

#### 【主要な商品】

・健康食品、化粧品、特定保健用食品の各分野に、主力商品を保有。

#### 冷凍青汁



#### 粉末青汁



#### はちみつ青汁



#### ヒアルロン酸コラーゲン



#### コラリッチ(基礎化粧品)



#### 豆鼓エキス



# ペプチドエース

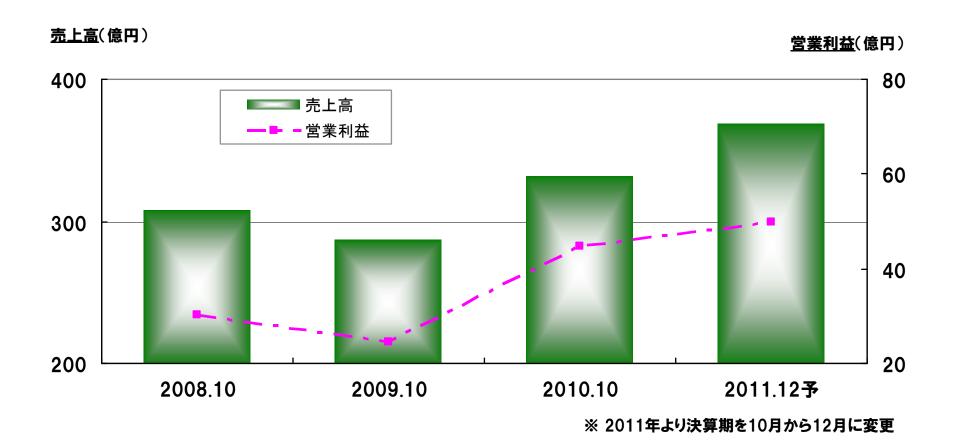


(日本サプリメント社)



#### 【キューサイ社(連結)の業績推移】

・2011年も売上高、営業利益ともに2010年実績を上回る見込み。



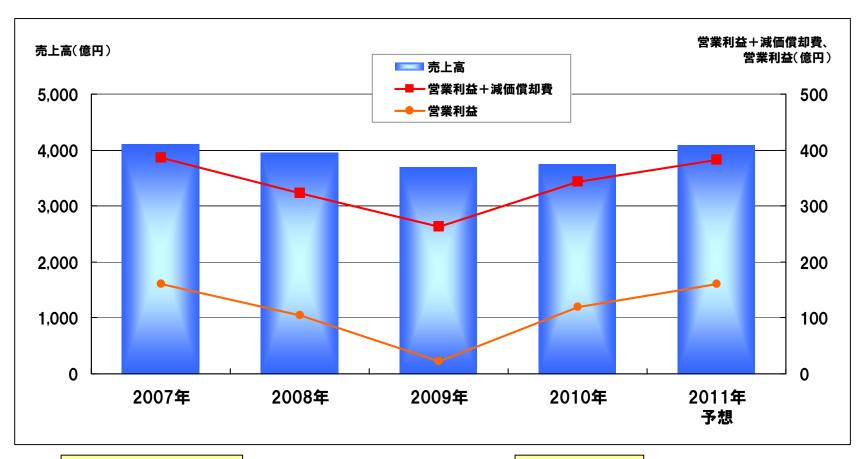
19



# 財務情報·株式情報



# 永続的な成長・発展に向けて、経営統合、M&A、業務提携



2006年7月1日 近畿コカ社と経営統合 (1999年以降、4ボトラー統合) 2010年10月1日 キューサイ(株)の株式 100%取得



- ・良好な財務構成(自己資本比率 65.5%)
- ・格付け「安定的」

#### 【連結貸借対照表(2011年9月30日現在)】

# 流動負債:14.5% 流動資産:33.7% 固定負債:19.9% 自己資本:65.5% 固定資産:66.3%

資産合計:3.461億円 負債純資産合計:3.461億円

#### 主な科目

1年内返済予定 25億円 の長期借入金

社債 : 500億円

長期借入金 : 102億円

資本金 : 152億円

資本剰余金 : 1.090億円

利益剰余金 : 1.297億円

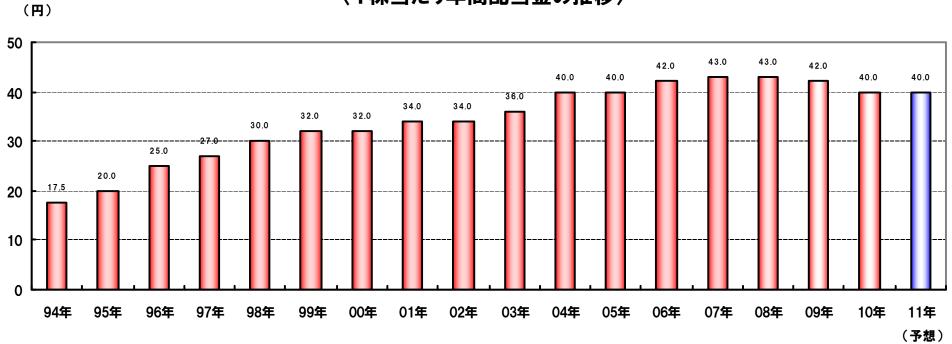
#### 【格付情報】

日本格付研究所(JCR) 長期優先債務格付(2011年7月19日現在)	AA-(安定的)
格付投資情報センター(R&I) 長期優先債務格付 (2011年8月26日現在)	A+(安定的)



# 安定的かつ継続的な配当を利益還元の基本とする

# 〈1株当たり年間配当金の推移〉





- ・6月末と12月末の年2回実施
- ・コカ・コーラ社製品詰合せ、コカ・コーラウエストグッズ、寄付などから、保有株式数に応じて選べる制度

#### 【株主優待 商品例】



コカ・コーラ社製品詰合せ



コカ・コーラウエストグッズ (バスタオル、クーラーバッグ等)



客付

	贈呈基準	值件出來	8# C n± 40	
基準日	ご所有株式数	優待内容	贈呈時期	
	100株以上 500株未満	株主優待ポイント 30ポイント贈呈(1,800円相当)		
6月30日	500株以上 1,000株未満	株主優待ポイント 40ポイント贈呈(2,400円相当)	同年9月頃	
12月31日	1,000株以上 5,000株未満	株主優待ポイント 60ポイント贈呈(3,600円相当)	翌年4月頃	
	5,000株以上	株主優待ポイント 120ポイント贈呈(7,200円相当)		

# 投資と利回り



・投資に適した単元株式 : 100株×1,288円=128,800円

・魅力的な配当利回り/株主優待 : 配当利回り3.1%、株主優待3,600円相当

→ (配当)年間40円×100株=4,000円

→ (優待) 1.800円相当×年2回=3.600円相当

#### 【参考: 単元株式数を購入、1年間保有した場合の同業他社比較】

(単位:円)

	投資金額	配当利回り	株主優待	配当+優待利回り
当社	128,800	3.1%	3,600円相当	5.9%
A社	133,300	2.9%	1,500円相当	4.0%
B社	150,300	1.0%	2,000円相当	2.3%
C社	296,800	1.7%	6,000円相当	3.7%
D社	897,000	3.0%	3,000円相当	3.3%
E社	165,500	1.4%	1,000円相当	2.0%
F社	356,500	2.2%	4,000円相当	3.4%

※ 投資金額は2011年11月25日の株価終値より算出、

配当利回りは予想配当金を用いて算出、

株主優待は2011年11月25日現在の各社ホームページ掲載内容より作成。

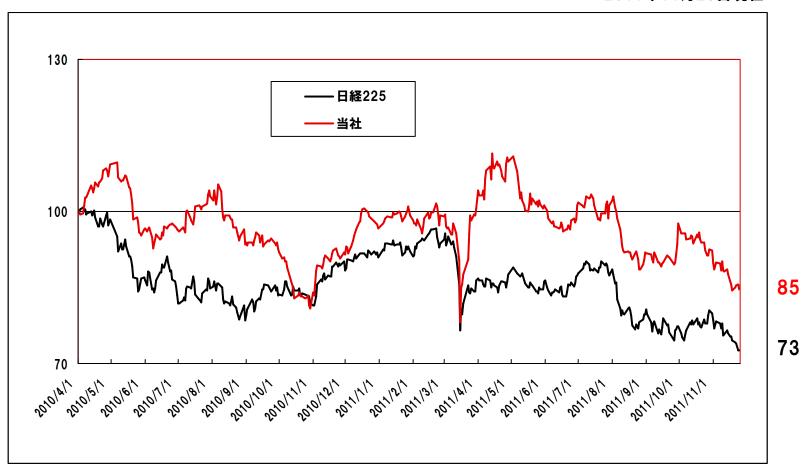
配当+優待利回りは配当金に株主優待(金額換算)を加えた利回り。



# 景気動向に比較的左右されない銘柄

# 【当社、日経225 株価指数の推移】※2010年4月1日の株価を100として算出

#### 2011年11月25日現在





# 総括(当社の強み)

# 総括(当社の強み)



# 1. 世界一のブランド「コカ・コーラ」

- ・企業ブランド価値は約5.5兆円(718億ドル※、12年連続1位) ※2011年 \*\*インターブランド社調べ
- ・誕生して125年、世界200以上の国と地域で愛飲されている
- ・長い歴史と世界中での事業展開から培われたノウハウを持つ・・・成功/失敗事例
- ・豊富な商品ブランド・・・「コカ・コーラ」、「ジョージア」、「爽健美茶」、「アクエリアス」、「ファンタ」等

# 2. 日本最大、世界有数のボトラー

- ・ザ コカ・コーラカンパニー/日本コカ・コーラの戦略的リーディングパートナー
- ・さまざまな取り組みの協働展開(商品開発、テストマーケティング等)
- ・マーケットシェアNo.1 (炭酸飲料/缶コーヒー/ブレンド茶/スポーツ飲料)

# 3. 地域に密着した経営

- ・西日本(2府12県)を事業エリアとする会社
- ・コミュニケーションの推進(地域社会貢献活動/地域環境推進活動など)
- ・地域で採用し、生活する社員
- ・地域の隅々まで網羅した販売ネットワーク

# 総括(当社の強み)



# 4. 健全な財務体質

・高い自己資本比率、高い信用格付け、安定配当

# 5. 進化・変革の精神

- ・新商品の発想(ジョージア、爽健美茶、紅茶花伝など)
- ・自動販売機チャネルの確立および、地域貢献型・省エネ型・キャッシュレス自動販売機の推進
- ・永続的な成長・発展に向けて
  - → 経営統合
  - → 業務提携(南九州コカ・コーラボトリング社、アペックス西日本社)
  - → M&A (キューサイ社、ウエックス社など)



# ホームページ: 個人投資家のみなさまのためのページ

コカ・コーラウエスト





#### ●全上場企業ホームページ充実度ランキング調査









本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としています。

当社株式への投資を推奨するものではありません。

また、本資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し、戦略などは、 資料作成時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基 づいています。あくまでも将来の予測であり、下記に掲げております様々なリスク や不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予 めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

- ・市場における価格競争の激化
- ・事業環境をとりまく経済動向の変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動
- ・上記以外の様々な不確定要素